

# 女性技術者意見交換会

道路建設産業労働組合協議会  
女性技術者意見交換会



何を求めているのか

# 01

働きにくい・働き続けられない理由

# 02

求められている施策・環境

## 目次

Agenda

# 03

出された意見まとめ

- ☑ライフステージに応じた働き方を選択できない
- ☑育児と現場の仕事での両立は難しい
- ☑異動に対する配慮が受けられない

## ① 出産・育児



## ② 男性社会の風潮

- ☑男性ばかりの現場で意見しづらい
- ☑女性の意見は、少数のため、軽視される
- ☑女性を特別扱いする逆差別

## ③ 身体的特性

- ☑体力面では男性にかなわない
- ☑トイレや更衣室の設備が整っていない
- ☑生理に関する男性側の理解がない
- ☑セクハラを受けないための配慮が足りない

### ① 出産・育児

建設業における働き手の確保は、高年齢化・少子高齢化が進む日本社会において最重要課題の一つである。そのような中で、出産・育児をする者が不利益を被るような業界であってはならない。また、育児復帰後のキャリアも考慮しつつ、少子化に歯止めをかけるためにも、働く側が求める環境整備の重要性が高まっている。

 ライフステージが変わっても働き続けるために

- ✓働く地域を選択できる
- ✓技術職以外の職種へチャレンジできる
- ✓一般職と総合職の選択が何度も行える
- ✓リモートワークでも活躍できる



 業界を挙げて取り組んでほしい取り組み

- ✓完全週休二日の完全実施
- ✓時間外労働の削減
- ✓男女を問わない育休取得率の向上

## ②男性社会の風潮

男性社会の風潮が今だに色濃く残る建設業において、女性は少数派ではあるが、女性技術者意見交換会でも「女性への優遇や配慮」を望む声もあれば、「女性への優遇や配慮を望まない」声もあった。働きやすい環境は、女性だけに対象を絞って考えることではない。

### より働きやすくするために

- ✓1on1の定期的な面談
- ✓女性だからと決めつけによる偏った業務内容
- ✓特別扱いは逆に働きにくさを生む



### ③身体的特性

身体的特性の問題は、「体力面」と生理やトイレ等の「セクシャル面」に分けて考えられる。  
上司が男性の場合は、生理等の「セクシャル面」についての配慮も当然に必要なが、能動的な配慮には注意が必要と思われる。

#### 働きにくさを解消するために

- ✓女性用トイレ、更衣室の設備
- ✓セクハラ行為を受けた時に安心して相談できる相手は同性
- ✓力仕事であっても出来る人もいる
- ✓技術者として男性と同じく成長できる



## トイレについて

- 男女兼用が依然として多い。
- 高速工事では、台数制限で女性トイレを入れる余裕が無い。
- 短工期の舗装現場では邪魔になり、我慢する場合もある。
- 建築現場では、現場用と管理用のトイレを別々に設置している。

## リモートワークについて

- 現場でも準備期間の書類整理にて導入。特に問題なく出来ている。
- 内勤の仕事では問題なくできるので、取り入れて欲しい。

## 女性にとって必要な環境

- 女性専用トイレ
- 体力差の補助（力の差は男女差を克服できない）
- 更衣室
- 男性と同じく、技術者として成長できる環境

## 人間関係（セクハラ）について

- 職人から仕事を教えて貰っており、大変有り難いが、セクハラ発言も出る。
- セクハラまがいの発言に耐え、逆にそれに乗ることで凌いでいる。
- 3年目まではなかなか言えなかった。セクハラが原因で辞めた人もいた。
- 直属の上司から行為を受けた経験がある。解決されずその後は諦めている。
- 下請け会社へ訴えかけ、下請け会社の間で解決をお願いした。
- 現場に女性一人が多く、周囲で助けてくれる人がいない。
- 男性では理解してくれる人が少ない。
- 事務員さんなり、女性から声掛けしてもらっただけでも助かる場合がある。

### 男女不平等について

- 女性だからといって、夜勤が出来ないとか、重いものは持てないと決めつけてほしくはない。
- 女性への特別な配慮が過ぎると、男女不平等になっている場合もある。

### 女性がいる現場への配置について

- 希望地域を聞かれ、実際の配置の際は叶っている。

### 土曜出勤について

- 現場にもよるが、一応週休2日は確保されている（土日とは限らない）。
- 現場に出ている時は、ほぼ毎週土曜出勤していたが、内勤では土日休めている。
- 完全週休二日制が強制されているので、タイムカードで調整している。

### 出産後の働き方について

- 配属先に一定の配慮があり、働き続けられている。
- 日建協の所属単組では、土木施工管理者の女性の方で、結婚・3人出産した後も継続して働いている方もいる。会社にしっかり希望を言うことと、配偶者の協力が不可欠である。

### 将来的な働き方について

- 若いうちは問題ないが、将来的に体力が続くのか自信が無い。
- 内勤等へのシフトチェンジも視野に入れている。現場で働き続けるのは無理。
- 結婚後、3年間は単身で別居。半年に一度は代理人として現場に出て、キャリアが消えないような働き方をしたいと考えている。そして、ゆくゆくは書類作成など事務職へのシフトチェンジを考えている。

### 転勤と待遇について

- 待遇と引き換えに地域限定職を選択できる。
- 一般職から総合職に戻るのが困難な仕組みになっている。
- ライフステージに合わせて働ける柔軟な制度ではない。